



『一つの花』から読み解く

学校長 有村 恵

彼岸花が終わり、コスモスの咲く季節となりました。初秋の風に吹かれて、右に左に揺れ、秋を代表する花です。漢字で書くと秋桜。まさに、可憐という言葉がぴったりの花です。さて、この時期になると、4年生の国語の教科書に載っている今西祐作の『一つの花』を思い出します。少し記憶を呼び覚ますために、あらすじを振り返ってみましょう。

幼いゆみ子は、お父さんとお母さんとの三人家族。ゆみ子はまだ片言しか喋れない女の子だった。そんなゆみ子の口癖は「一つだけ、一つだけちょうだい」だった。しかし今は戦時中。戦況は悪化の一途を辿り続け、日々ひどい生活を強いられている。それでもお母さんはゆみ子のために、自分の分を分け与えていたので、いつのまにか「一つだけ」が口癖になってしまった。お父さんは、ゆみ子を不憫に思った。「一つだけの幸せ」、でもこの子が大きくなる頃にはその幸せさえなくなってしまうかもしれないと……。

敗色が濃くなる中、体が弱いお父さんの下にも召集令状が届く。出征するお父さんを見送りに、お母さんとゆみ子がついていく。駅には他にも出征する人がいるようで、時折軍歌が聞こえてくる。プラットフォームでゆみ子を抱いたお父さんは、軍歌を歌いながら気丈に振る舞う。何も知らないゆみ子は、お父さんにも「一つだけちょうだい」と言ってしまう。困ったお父さんは、プラットフォームの端っこで咲いていた一輪の花を取ると、それをゆみ子に渡した。その花はコスモスだった。「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよ。」コスモスの花を受け取ったゆみ子。それがお父さんとの最後のやり取りだった。お父さんは汽車に乗り込み、そして帰ってくる事は無かった。

10年後、ゆみ子の家の周りには沢山のコスモスが咲き誇っていた。ゆみ子はお昼の食事の買い物にスキップしながら出かけていった。

この作品を通して、子供たちは文学作品の読み取りについて学んでいきます。文学作品は、叙述に沿って想像しながら、読み取ることが求められます。(以下原文のまま)

例えば、「プラットホームのはしっぽの、ごみすて場のような所に、わすれられたようにさいていた」から、食べるものにも困窮する当時の人にとってコスモスは忘れられたような存在だったのかもしれませんが。でも、そんな過酷な状況下でもたくましく、美しい花をつけていたコスモスのように気高く・たくましく生き抜いてほしいというゆみ子の父親の思いを表しています。次に、「あわてて帰ってきたお父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。」「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。」から、なぜ、群生しているたくさんのコスモスをあげなかったのでしょうか。おそらく、お父さんは、たくさん咲いていた中から、敢えて一つだけを取って、「一つだけあげよう。」と言った可能性が高いように思えます。さらに、「一つだけのお花、大事にするんだようー。」から、私は、お父さんが「一つの花」を「ゆみ子の一つの命」と重ね「大事にするんだよう」と言いながら、渡したと捉える読み方がよいのではないかと考えます。しかし、文中には「花＝命」ということを直接示す言葉がありません。したがって子供はかなりの想像力を働かせないとたどり着きにくいのです。戦時下でこれが最後になるかもしれない別れ”をしている場面であれば、「父親」が家族に対して思うことは、「何とかして生き延びてほしい。」であることは間違いないでしょう。このように考えると、物語を流れる「一つだけ」という言葉が、“高い高い”をする2場面では提示される「ゆみ子の将来に対する不安」から続くゆみ子へのお父さんの思いが結びついたこととなります。「コスモスのようにたくましく生き延びてくれ」という思いと同時に、「自分も生き抜きたい」という思いもあったことでしょうか。そして、お母さんの身も案じていたことと思います。秋の夜長。文学作品を読みながら想像を広げ、心豊かで穏やかな時を過ごすことができたらと思っています。



研究授業

本年度から本校は鹿児島県教育委員会と連携し、ICTを指導に生かすことを目指して研究を進めることになりました。研究テーマは「自分の考えを表現し、主体的に学ぶ児童の育成」です。10月24日(月)この研究テーマで6年生が算数の授業を通して実践しました。タブレットやシンキングツールを活用して、自分や友達の考えを整理して、学習の目標を達成していました。今後もそれぞれの学級でタブレット等を活用しながら学習内容を深めていきます。



地域が育むかごしまの教育

IN 吉田小学校

自由参観
 11月1日(火)～7日(月)の午前中は自由参観週間となります。

秋祭り(1・2年)
 11月10日(土)～12日(日)に秋祭りを開催します。

学習発表会
 11月27日(日)に学習発表会を開催します。





県民週間

【令和4年度 本校児童作成ポスター】
見に来てね がんばるぼくらが吉田っ子

教員室にて受付後、御参観ください。
 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年組のみ参観となります。また、参観の際はマスクの着用をお願いいたします。
 ※お問い合わせは吉田小学校(TEL:099-299-2407) 電話299-2407

見学体験学習

10月14日(金)は見学体験学習がありました。子供たちは、かねてなかなか見学できない所に行き、活動等を楽しんでいました。



水族館



西警察署



黒酢工場

11月1日(火)～7日(月)の午前中は自由参観週間となります。子供たちが学習や運動に頑張る様子を、ぜひ参観にお越しください。お待ちしております。

脱穀

10月21日(金)に5年生が脱穀を行いました。今年度はもみで昨年度とほぼ同量の257kg(昨年度は264kg)の収穫がありました。収穫量もさることながら、品質も大変よいもち米が収穫できたと喜んでます。子供たちには全員に0.5kgずつ配付します。また、昨年同様11月27日(日)の学習発表会の時に2kg800円で販売します。これまでPTA生活環境部の皆さん、御協力ありがとうございました。



11月

主な学校行事

- 1日(火) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間(～7日) 秋祭り
- 2日(水) 避難訓練(火災)
- 11日(金) ノーメディア週間(～17日)
- 12日(土) 学力向上の日
- 27日(日) 日曜参観 学習発表会
- 28日(月) 振替休日
- 30日(水) 市小学校音楽会(4・5年生出場)

上記の記事の詳しい内容や南日本新聞に掲載された本校の子供達の作品を、吉田小学校のブログに載せてあります。また、学校行事や日々の子供達の頑張りがブログを毎日更新しています。右のQRコードか、吉田小学校ホームページからぜひご覧ください。



子供たちの頑張りを紹介します

- 【南日本新聞10月子供のうた掲載】
- 2年 O・A 「十五や」
- 【社会科研究記録審査会入選】
- 4年 Y・K 4年 N・O
- 5年 T・U 6年 O・K



10月13日(木)は5・6年生を対象にした健康教室と学校保健委員会が行われました。